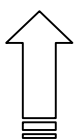


「人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上」

先回は「人権尊重の理念に立った生徒指導」について紹介しましたが、今回は「人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上」について紹介します。（指導等の在り方編 P15～16）。

「確かな学力」を育むために

「確かな学力」（自ら学び自ら考える力など）の育成



- ・児童生徒一人一人の個性や教育的ニーズを把握する。
- ・学習意欲を高める。
- ・指導の充実を図る。

そのために…

人権教育の視点に立った学校づくり

- ・学校・学級の中で、一人一人の存在や思いが大切にされる環境の成立を図る。

学校全体として求められること

- ・教育目標の共通理解を図る。
- ・学ぶことの楽しさを体験させる。
- ・望ましい人間関係等を培う。
- ・学習意欲の向上に努める。

「確かな学力」を育む上では、児童生徒一人一人の個性や教育的ニーズを把握し、学習意欲を高め、指導の充実を図っていくことが必要であり、そのためには、学校・学級の中で、一人一人の存在や思いが大切にされるという環境が成立していなければならない。

このように見た場合、校内に人権尊重の理念にもとづく教育活動を行き渡らせることは、学習指導の効果的な実施を図る上でも、重要な観点の一つとなるものと考えられる。

学校においては、「確かな学力」を育むためにも、学校全体として「一人一人を大切にし、個に応じた目的意識のある学習指導に取り組む」等の教育目標の共通理解を図るとともに、学ぶことの楽しさを体験させ、望ましい人間関係等を培い、学習意欲の向上に努めることが求められている。

参考として・・・

『効果のある学校』 effective school

教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校

〔第三次とりまとめ〕では、『効果のある学校』に関する国内外の研究をもとに、

- ・「(効果のある学校では) 学力の向上と人権感覚の育成が併せて追求されている」
- ・「人権感覚の育成は、・・・学力形成においても成果を上げている」

としています。

最近では、この「効果のある学校」をさらに進めて「力のある学校 (empowering school)」として、元気になれる学校をめざして研究を進めているところもあります。